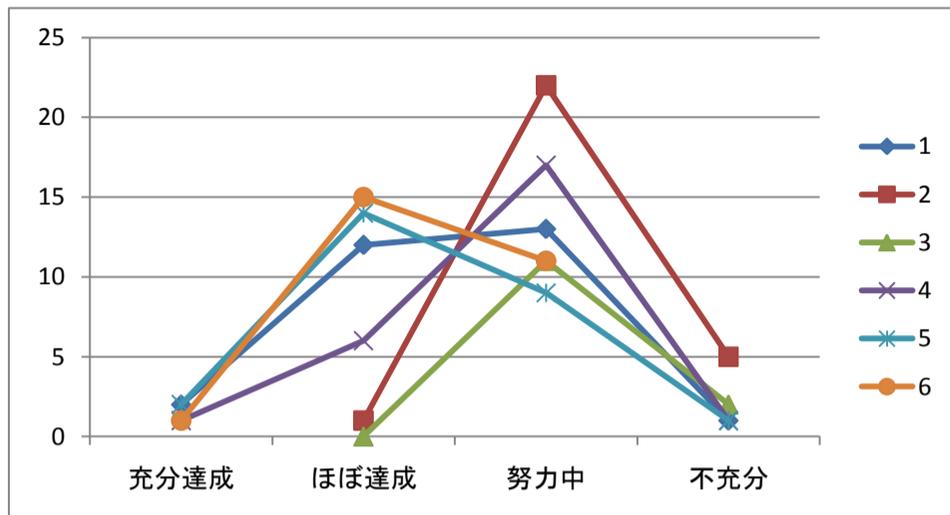


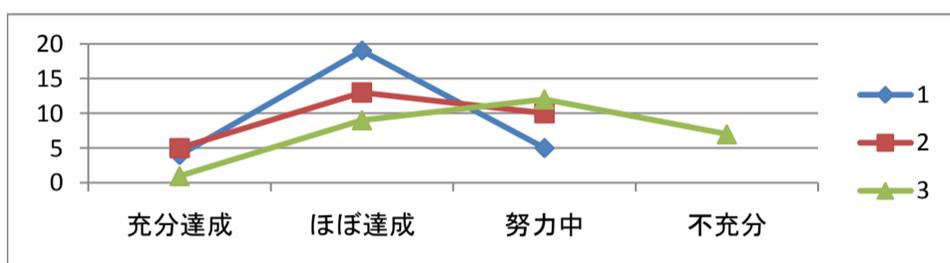
第 1 回 自 己 評 価 結 果

① 教育課程・指導



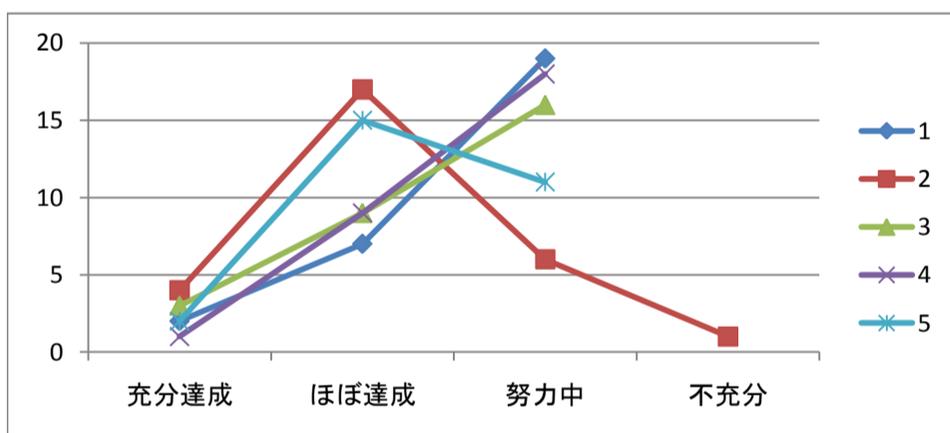
1	園の教育理念や方針を理解し、目指す幼児の姿を具体的にイメージできる。
2	幼稚園教育要領を理解し、具体的な事例を想起できる。
3	園の教育課程を理解し、それをもとに保育の計画をたてている。
4	長期の指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直しを行い、短期の指導計画は幼児の実態に合わせて、変更できる順応性のあるものになっている。
5	幼児の生活が豊かになるような行事を、実態に合わせて精選している。
6	教師の願いや意図をもち、幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている。

② 健康と安全への配慮



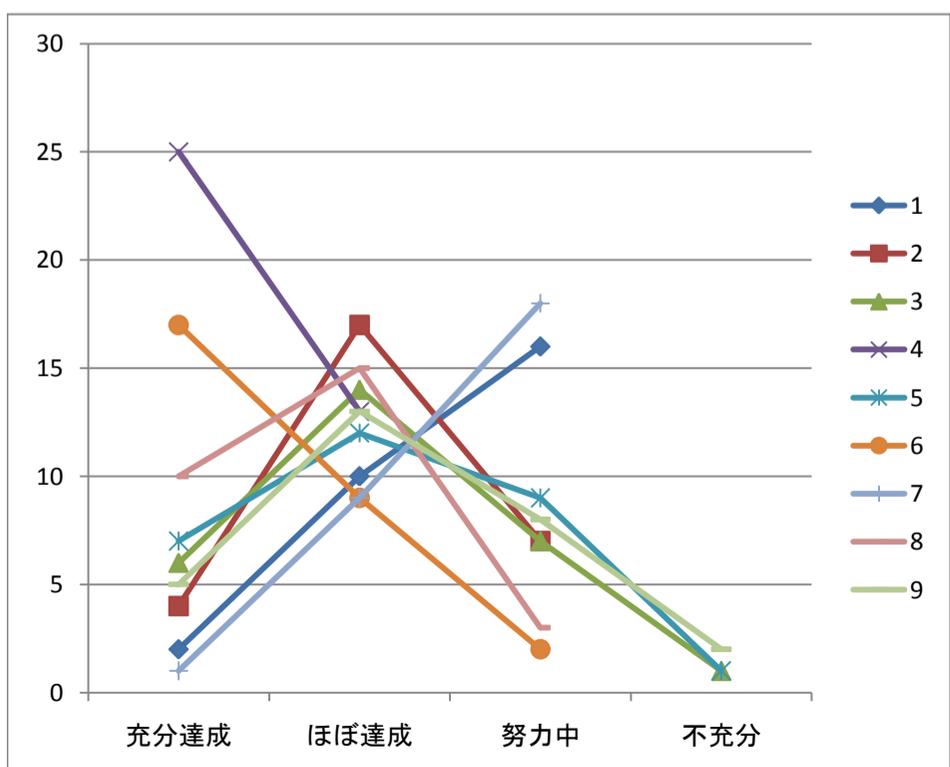
1	けがや事故には特に気をつけ、機会に応じた適切な配慮をしている。
2	健康な心と体を育てるための食育に取り組んでいる。
3	緊急事態発生時に教職員が役割を把握し、連携して行動ができるよう訓練をし、共通理解が図られている。

③ 幼児のみとりと理解・対応



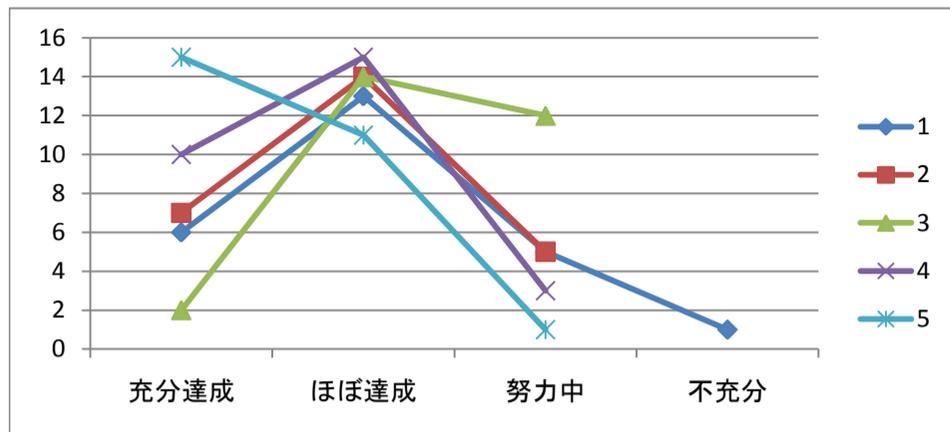
1	一人一人の幼児をよく観察し、言葉にならない思いやサインを受け止め、幼児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察するようにしている。
2	幼児の気持ちに共感しながら、一緒によく遊んでいる。
3	「先生のようにやってみたい」と幼児が思うような、モデルとしての姿を心がけている。
4	幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をしている。
5	幼児の年齢や発達に応じたかかわり方をしている。

④ 教師としての資質・能力・良識・適正



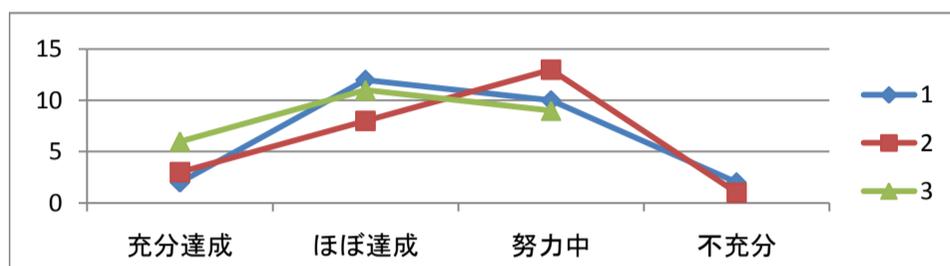
1	保護者に対し、幼児や保育のことを分かりやすく伝え信頼関係をつくることに努めている。
2	幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにする。
3	園の教材等は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにする。
4	職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。
5	クラス内はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している。
6	教職員全員でひとつのチームであることを意識している。
7	他の意見を素直な気持ちで聞き、自分の意見を述べるができる。
8	当番や役割による仕事は確実にやっている。
9	自然に対する感性をもち、命の尊さを感じている。

⑤ 保護者への対応



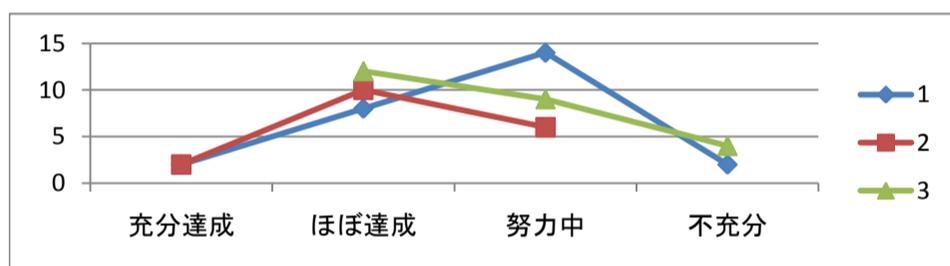
1	保育参観や懇談会を開き、子ども、保育、家庭でのあり方などについて共通理解を得るように努めている。
2	園日より等で、園の教育について適切に情報を提供している。
3	自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞く。
4	園のすべての保護者に対し、挨拶や会話を心がけている。
5	クレームがあつた場合は、謙虚に話を聞き、園長、主任等へ連絡・報告・相談している。

⑥ 地域の自然や社会との関わり



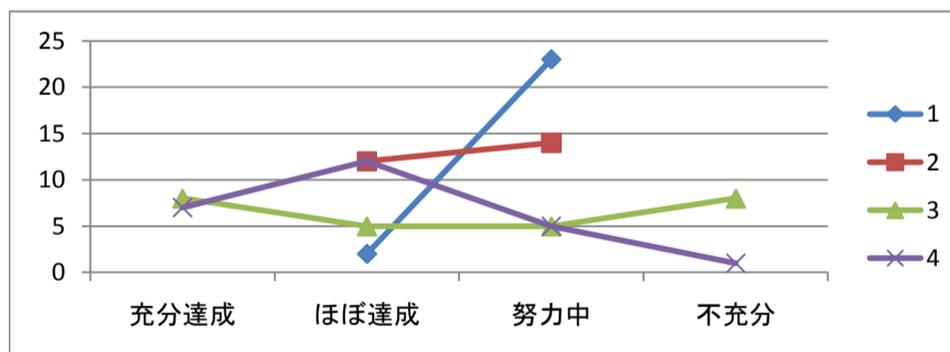
1	地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけて活用している。
2	小学校生活に期待と憧れをもたせる機会を設け、小学校生活や学習につながる指導を行っている。
3	子育て支援活動は地域や保護者の実情や要望に応えられる工夫をして行っている。

⑦ 特別支援教育



1	特別に支援が必要な幼児には、個別の指導計画などを作成し、必要に応じて専門機関との連携をしている。
2	特別に支援が必要な幼児をとりまく大人たちの相互理解を深め、個性の違いを認め、お互いに尊重できる子どもの人権教育に配慮している。
3	特別に支援が必要な幼児の就学相談を保護者と行い、小学校に適切な助言と申し送りを行っている。

⑧ 研修



1	研修会には自己課題をもって進んで参加している。
2	自分の保育について計画と反省を行っている。
3	他園の見学をしたり公開保育を見てみたいと思う。
4	園内で幼児理解を深めるための事例検討会等を行っている。

※ 全体の結果は、Bが8名 Cが20名

● 各項目の参考意見等

① 教育課程・指導

- 1 教育方針は理解しているが、そのためにどのように子どもに関わっていくかまだ深められていない。具体化するのが難しい。
- 2 教育要領をもっと勉強しないとイケない。漠然とイメージはできるが、具体的な理解に欠ける。
- 3 前年度の計画をもとにしていてところがあり、今後は教育課程をふまえて、月案をたてていく必要があるように思う。
- 4 見直しや変更がされず、マンネリ化している傾向がある。「例年～」から話が始まるので、新しいアイデアが出にくい。
 (1～4) 前月の月案の見直しや反省を行い、来年度につなげる。テーマを「製作活動」「身体表現」等にしぼり、1年間の指導計画を年次毎に立て、それを参考にしながら月案を立ててはどうか。さらに少⇒中⇒長と、それをつなげていけるよう、反省、ひきつぎををしていくといいのではないかと。
- 6 単に1日をすごすこともあったため、きちんとその日の保育の意図をもってとりくみたい。願いばかりが強くなり、幼児を見通しての援助ができない。

② 健康と安全への配慮

- 2 田畑の環境をさらにいかし、植える、収穫するだけでなく、その過程等を知らせたり、関わっていくなどの努力も必要だと思う。
- 3 避難訓練を緊迫感をもってどこまで行えているかが課題。実際の場面で保育者自身が動けるかが不安。不審者対応についての理解がまだ不足している。→ 突然訓練を行うなどして意識を高めたり、問題点をみつけることも必要ではないか。

③ 幼児のみとりと理解・対応

- 1 保育を行う中で1番に考え、努力しているが反省することも多い。
- 2 子どもの中にしっかり入りこんで遊べていない。事務仕事や活動に追われてしまうこともあり反省している。
- 3 言葉づかいや行動には気をつけているが、心をゆさぶるような遊びの提案はできていない。
- 5 受けもったことのない年次の子に対しての関わりがわからないこともある。

④ 教師としての資質・能力・良識・適正

- 1 子どもの育ちについては伝えているが、保育のことまでは伝えきれていない。
- 2 苦手な保護者には構えてしまう。
- 3 のりですむところを両面テープを使う等して楽な方をとってしまうことがある。
- 5 人任せにせず、気づいたら行動にうつすよう心がけたい。
- 7 素直な気持ちで聞けないこともある。相手に遠慮してなかなか伝えることが難しい。時折、感情が入ってしまいやすいので反省。自分の意見がなかなか言えない。自分の考えを聞いてもらえる環境があるのでアドバイスも聞きやすい。
- 9 自然に対し、知識が少ない。自分は感じていても、子どもに伝えきれていない。虫かごに虫を入れても世話ができずにいるので気をつけたい。子どもたちの気づきを活かしていけるよう努力したい。

⑤ 保護者への対応

- 1 副担という立場に甘えて、共通理解という認識が薄いのもっと意識を高めていきたい。
- 2 年次日よりでは、もう少し子どもの姿、とりくみを伝えてもよいのではないかと思う。保護者の受けとめ方が様々なので、どのような言葉で伝えるかが大切に思う。

⑥ 地域の自然や社会との関わり

- 1 今までこのような観点で考えたことがなかった。もっと保育者自身が好奇心をもち、あたり前のように見てきたことにも関心をもち、子どもの興味をひき出していけるよう努力したい。
- 2 さらに小学生とふれ合い、遊ぶ機会が増えるといいと思う。年長の先生はしているだろうが、自分は大まかなことしかわかっていない。どういった保育が今後の育ちにつながるのかという意識を少・中・長の保育者がそれぞれもっているかが課題かもしれない。

⑦ 特別支援教育

- 1 記録や青い鳥の先生との連携で行われている。個別の課題をもち記録をとっている。計画という点で課題もあるのでは。日案を立てる際など対象児のイメージを明確化するなど、できる範囲の努力を模索してはどうか。計画はしていないが記録をとることで細かく把握している。専門機関とは、母親（保護者）を通して連携をとっているにとどまっている。
- 3 年長の先生にまかせきり。他年次への意識の薄さを感じ、反省。

⑧ 研修

- 1 きめられた研修には参加するが、自ら進んで参加することができない。自分自身の課題をしっかりとつよようにしたい。休みの日に研修に行くのは敬遠してしまう。
- 2 慣れで保育をしてしまう。反省を次に活かさきれていない。週案簿もしっかりポイントをつかみ、整理して、反省するよう心がけたい。
- 3 見て刺激を受けたい。障害児保育にとりくんでいる園をみてみたい。他クラスや他の先生の関わり方をみることによって自分を振り返るよう努めていきたい。

4 気づきがいい機会になっている。さらに聞くだけでなく各々が意見を言い合える場にしていくことが課題。

● バックアップして下さる先生からの意見

保育全般でその日の朝に活動内容を聞いて対応していくことが多く、私自身、これでいいのかと不安をもって保育することが多い。そうならないために事前に内容や目的、個々の課題などを把握し、担任の保育者と共通理解した上で、いい援助がしたい。

● 全体の反省・課題

自分の保育へのマンネリ化。おおむね達成しているかのような曖昧さ。知識や理解は経験をつみ重ねたことで得られている部分が多いが、反面、心身を十分動かしていない。経験に甘んじて自分に足りないことを改善する気持ちが薄い。幼児の発達や生活を見通しての保育計画を立て、日々の保育に臨む必要を感じた。日々を過ごすのに精一杯。もっと周りの動きをみて自分のこととして吸収していきたい。一日の反省を単に書くだけでなく、子どもの内面に注目していきたい。自分の意見もきちんと考え、述べることができるようになりたい。